

困った場面を 切り抜ける 簡単カタコト英会話

岩村圭南



言葉が出ない、発音に通じない、
何をやっても上達しない人でも、

カタコト
英語

+

カタカナ
発音

+

ネットで
リスニング

で

ネイティブにも 伝わります

おもてなし、
海外旅行、
ビジネス、
全て対応可能

専用Webサイトで書籍に完全対応したリスニングが可能

<https://book.mynavi.jp/english/katakoto/>

マイナビ

困った場面を 切り抜ける 簡単カタコト英会話

岩村圭南



専用Webサイトで書籍に完全対応したリスニングが可能

<http://book.mynavi.jp/english/katakoto/>

はじめに

ある日の午後。打ち合わせの場で。編集者の1人**K**が海外での体験談を語り始めました（登場人物の名前は頭文字で表記。**I**は筆者）。

——アメリカで開かれた国際展示会へ出席した後、宿泊しているホテルの最上階にあるバーで飲みました。しばらくして、ほろ酔い加減で部屋に戻ったのですが、カードキーを持たずに出てしまったので、中に入れません。仕方なくフロントへ行き、事情を説明しました。酔っていたせいもあり、状況を英語でうまく伝えられずに四苦八苦。単語の羅列と身振り手振りで何とかその場を切り抜け、部屋の鍵を開けてもらいました。もともと英語力に自信などないのですが、あの時は、あまりの不甲斐なさに、かなり落ち込みましたね。——

話が終わると、編集者**T**（女性）が**I**に問いかけます。

「鍵を部屋の中に置いたまま出てしまった。英語で何て言うんでしょう？」

「I locked myself out of the room.」答える**I**。

「lockを使うんですね」そう言ってうなずく**T**。

「あるいは、I'm in trouble. I need your help. I left my key card in the room ...」

この後、「あの状況を説明する誰でも言える英語」が話題の中心になり、しばらくして結論が出たのです。

その英語とは。

Key inside. Me outside. Help me.

するともう1人の編集者Mが「『鍵は中、私は外。助けて』か。『福は内、鬼は外』みたい。でも、それで通じるんですよね」と感心したように言ったのです。

少し考えるようにしてから、さらに話を続けます。

「実際の場面で物を言うのは語彙。単語や表現を知らなければどうしようもない。通じる英語を話すには、発想も大事だと思います。それに加えてもう1つ」

3人の視線がMに。

「それは少しの勇気かな。言っちゃえ、という思い切りのよさ。日本人は控えめな人が多いから」とM。

「その通りかもしれませんが。語彙に発想、少しの勇気」

そう言とIは、何度となくうなずいていたのです。

実は、この言葉が本書『困った場面を切り抜ける簡単カタコト英会話』を書くきっかけになったのです。

英語トレーナー 岩村 圭南

読者の皆さんへ

『困った場面を切り抜ける簡単カタコト英会話』専用Webサイトでは、本書の内容と連動した音声を無料配信しています。本書を読みながら音声を聞き、カタコト英語トレーニングをしましょう。ナレーターは私、岩村圭南です。

URL: <https://book.mynavi.jp/english/katakoto/>

困った場面を切り抜ける簡単カタコト英会話

目次

Contents



はじめに	2	Scene 02 逆方向の電車	34
Part 1		Scene 03 道に不案内	36
基礎編		Scene 04 目的地は秋葉原	38
物を言う語彙	8	Scene 05 繁華街の誘惑	40
発想の転換	13	▶トレーニング&チェック	42
勇気の源	16	Scene 06 紙幣で自販機	44
カタカナ発音表記について	25	Scene 07 上りのエレベーター	46
カタコト英語トレーニングの進め方	26	Scene 08 1人でカラオケ	48
「カタコト」もう1つの意味	30	Scene 09 銭湯初体験	50
		Scene 10 わさびの味	52
Part 2		▶トレーニング&チェック	54
実践編		Scene 11 二度づけ禁止	56
おもてなし・日常編		Scene 12 憂鬱な梅雨空	58
Scene 01 地下鉄の運賃	32	Scene 13 1、2の3	60

Scene 14 張り紙の文字	62	▶トレーニング&チェック	102
Scene 15 神社でお参り	64	Scene 31 旅先で体調不良	104
▶トレーニング&チェック	66	Scene 32 足りないおつり	106
Scene 16 おみくじで大吉	68	Scene 33 円で買い物	108
Scene 17 鶯張りの廊下	70	Scene 34 派手なカーディガン	110
Scene 18 お茶会で正座	72	Scene 35 激安店で質問	112
Scene 19 あっち向いてほい	74	▶トレーニング&チェック	114
Scene 20 デートに遅刻	76		
▶トレーニング&チェック	78	*ビジネス編*	
		Scene 36 空港で出迎え	116
海外旅行編		Scene 37 名刺の交換	118
Scene 21 声をかけリクライン	80	Scene 38 ゴルフのハンデ	120
Scene 22 目的地に到着	82	Scene 39 スマホでお辞儀	122
Scene 23 バスで市内観光	84	Scene 40 英語で電話対応	124
Scene 24 メジャーリーグ観戦	86	▶トレーニング&チェック	126
Scene 25 行列のできる店	88	Scene 41 初めての納豆	128
▶トレーニング&チェック	90	Scene 42 定食屋でランチ	130
Scene 26 人気店の待ち時間	92	Scene 43 寿司の食し方	132
Scene 27 豊富なメニュー	94	Scene 44 食前の決まり文句	134
Scene 28 来ない料理	96	Scene 45 茶柱の意味	136
Scene 29 一気にかき氷	98	▶トレーニング&チェック	138
Scene 30 激辛のカレー	100	Scene 46 飲みニケーション	140

Scene 47 飲み放題の店 142

Scene 48 乾杯の音頭 144

Scene 49 お勘定は私 146

Scene 50 会社帰りに一杯 148

▶トレーニング&チェック 150

Scene 51 満腹でデザート 152

Scene 52 寄ってらっしゃい 154

Scene 53 おしぼりとメニュー 156

Scene 54 入れ墨お断り 158

Scene 55 メアドって何? 160

▶トレーニング&チェック 162

Scene 56 上司に相談 164

Scene 57 英語で司会 166

Scene 58 プレゼン前の独り言 168

Scene 59 本音の意見 170

Scene 60 会議で採決 172

▶トレーニング&チェック 174

▶話すには話す練習を! 176

Part 3

使える表現・英文編

1 四季別英語表現集 178

2 英語で写真を撮る 180

3 英語の擬音語・擬態語 181

4 英語で声かけ 182

5 英語で接客・おもてなし 183

6 味覚表現いろいろ 184

7 英語で体調・症状 185

8 英語で電話 186

9 丼物を英語で説明 187

10 会話で使える便利表現 188

11 飲み会での言い回し 189

12 カタカナ表現 190

おわりに 192



Part 1 基礎編

語彙に発想、 少しの勇氣



カタコトとは

格好をつけず、単語を並べ、
声に出し、とにかく言ってみる。

音声について

専用サイトにアクセスすれば、

「発音:6つのポイント」の音声聞けます。

<https://book.mynavi.jp/english/katakoto/>

1 物を言う語彙

「はじめに」の続き

「英語で何と言うんだらう?」。この話題、案外盛り上がるのです。

本書の内容に関する打ち合わせのはずが、Key inside. の英文がきっかけとなり、あたかも「英語で何と言うんだらう?」を話し合うために集まったような雰囲気。

「私、ビール党なんですよね」とK（鍵を部屋に置き忘れた人物）。つまり、それはI（筆者）に対する質問。

ビール党は英語で何と言う?

「I like beer. でいいんじゃないですかね」

な～んだ、という顔つき。

「I'm a beer person. とも言います」

3人（編集者）が「ん?」の表情。興味を持った証。

「この person は応用できます。例えば、I'm a coffee person. は『コーヒー党』、I'm a pizza person. 『ピザ好き』、I'm a Mac person. 『ウィンドウズ派ではなく、マック派』、I'm a morning person. 『朝型』、I'm a night person. 『夜型』、He's a people person. 『社交的な人、人付き合いがいい人』。もう一つ、I'm not a water person. これ、映画の中で使われていました。タイトルは忘れましたが」

「それって、泳げない、という意味ですか?」とT（女性編集者）。

「ええ、そうです。まだまだありますよ。『犬好き』は a dog person、『猫好き』は a cat person」

「面白いな。応用の仕方がわかれば、語彙がどんどん増えますよね」と感心したように**M**（本書を書くきっかけを与えてくれた人物）。

気を良くした**I**。調子に乗って、本題そっちのけで話し続けます。

「goを使った便利な表現があるんですけど、知りたいですか?」

うなずく3人。

「例えば、同僚とランチを食べに行くとして、『イタリアンにしよう』は、Let's go Italian. と言うんです。これがわかれば、Let's go French. Let's go Chinese. Let's go Mexican. などなど。便利でしょう! Let's go to an Italian restaurant. と言わなくてもいいんですから」

この後も、同じような話が続いたのですが、しばらくして、「それで、書籍の件ですが」と**T**。

彼女の一言で、ようやく本題に戻ったのです。

英語で道案内

英語で何と言うんだろう? この視点から、さまざまな言い回しを取り上げ、一冊の本にまとめるのも面白いでしょう。また、応用表現を集め、紹介する。これも1つの案。

ああでもない、こうでもないと検討を重ね、本書では、英語を話したい(あるいは、話さなくてはならない)場面に焦点を当て、そこで用いられる語彙(本書では、単語ばかりではなく、表現、文なども含む)を覚える形式にしたほうが、より効率的で、なおかつ、実践的である、という結論になったのです。

その場面及び語彙とは。日常生活の中で英語を話す可能性がある場面、状況と言って、すぐに思い浮かぶのは道案内でしょうか。海外からの観光客が年々増え続けています。いつ何時英語で助けを求められるかわかりません。

ここで具体例を挙げてみましょう。

街を歩いていて、Excuse me. How do I get to the art museum? 「すみません。美術館へはどう行けばいいですか?」と聞かれたとしましょう。I don't know. 「わかりません」と答えれば、話が終わってしまいますので、ここでは、英語で道順を説明する、という設定にします。例えば、「この道を真っすぐ行って、2つ目の角を右に曲がってください。見えますから。すぐにわかりますよ」。これを英語で言うと次のような流れになります。

Go straight on this street and turn to the right at the second corner. You'll see it. You can't miss it.

実際の場面では、思ったように英語が口をついて出てこないものです。しかし、上のような英文の流れがある程度頭に入っていれば何とかできます。例えば、Straight. と言って行く方向を指差し、2つ目の角を右に曲がるなら(再度、指で方向を示し)、Second corner. Right. OK? と言えばいいのです。You'll see it. や You can't miss it. が言えなくても大丈夫。

折角ですから、この機会に覚えておきましょうか (You

can't miss it. 「見逃すはずがない」で「すぐにわかる」の意味に)。

次は道案内に関連した表現・英文。紹介する前に、確認しておきたい点が1つ。それは「曲がる」をどう言うか。上の英文の中に出てきましたが、基本となるのがTurn to the right / left. ですね。to theを略してTurn right / left. とも言えます。Turnの代わりに他の動詞も使えます。例えば、Take / Make a right at the convenience store. は「コンビニのところで右に曲がってください」の意味。「左に曲がる」はtake / make a leftです。theではなくaを使う点に注意。

Turn right / left. を覚えておけばいいのですが、念のため説明しておきました。「曲がる」の話はここまで。では、道案内関連表現・英文を紹介しましょう。

《目印》

traffic light「信号」- crosswalk「横断歩道」- footbridge「歩道橋」- scramble crossing「スクランブル交差点」- railroad crossing「踏切」- convenience store「コンビニ」- gas station「ガソリンスタンド」- police station「警察署」- fire station「消防署」

《動作》

cross「渡る、横切る」- keep walking「歩き続ける」- go in the right / wrong direction「正しい / 間違った方向へ行く」- get there「そこに着く」- follow the crowd「みんな(大勢の人)について行く」

《知っておきたい英文》

1. It's an easy walk.

楽に歩いて行けます。

2. It's too far to walk.

歩くには遠すぎます。

3. I don't know this area well.

このあたりをよく知らないんです。

4. You'd better ask someone for directions.

誰かに道を聞いたほうがいいですね。

5. I'm going there, too. Why don't you come along?

私もそこへ行きますので。一緒に行きましょうか？

これでかなり道案内する時に使える語彙が増えました。

実際の場面で物を言う（役立つ）語彙を身につける。これが本書の狙いの1つでもあるのです。そのためには、単語、表現、文を覚えるばかりではなく、Go straight on this street and turn to the right at the second corner. You'll see it. You can't miss it. のような連続した英文を使って練習をしておく必要があるでしょう。英文の流れが頭に入っていれば、たとえ途切れ途切れになったとしても、それを基にして話せばいいのですから。

2 発想の転換

3つの大丈夫

発想の転換。字面だけ見ると、何やら堅い話になるので、と思われたかもしれません。ここでは、英語に対する考えや気持ちを少し変えてみる、という意味合いだと思ってください。

では、発想の転換に必要な「**3つの大丈夫**」についてお話ししましょう。

まず、「**発音が下手でも大丈夫**」。なぜ英語を声に出して言う練習（音読）をしたがらないのか。「面倒臭い」は除くとして、「発音が下手」が一番の理由ではないでしょうか。下手だからと言って、声に出して言うのを億劫がり、英語を読む、聞く、書く練習ばかりしていたら、いつまで経っても話せるようにはなりません。下手だから練習が必要なのです。発音がうまい、下手に関わらず、とにかく言ってみる。これが大切。意識して練習していれば、あなたらしい英語の発音が身につけていきます。個性があってもいいのです！

この後「勇気の源」で、英語らしく話すためのアドバイスをしますので、Part 2「実践編」でトレーニングしましょう。

2つ目は、「**間違えても大丈夫**」。Don't be afraid of making mistakes. 「間違えることを恐れるな」。英語学習者にとっては、聞き慣れた言葉でしょう。そう言われても、気になるのが間違い。敢えてここでもう1度。「**間違えても大丈夫**」。母語である日本語を話していても、言い間違えた

り、言葉に詰まったり、噛んだり、妙な言い回しをしたりするものです。外国語ともなれば、間違えて当然。それくらいの気持ちでいけばいいのです。

Don't be self-conscious when you speak English.これを日本語の旅に関する言い回しをもじって意識すると、「英語の恥は掻き捨て（英語を話すときは意識過剰になるな）」になります。日本は恥の文化である、とよく言われますが、英語を話していて間違えるのは、恥ではありません。英語を学び、話しながら、間違いや失敗から学んでいけばいいのです。Learn from your mistakes and failures.この言い回しも心に留めておきましょう。

「**全部言わなくても大丈夫**」。これが3つ目。「物を言う語彙」で取り上げた「英語で道案内」の中でも指摘したように、完璧な英文で話さなくても、ポイントとなる単語や表現を言えば、こちらのメッセージは伝わるものです。この3つ目は「**カタコト英語でも大丈夫**」と言い換えてもいいかもしれません。

カタコト英語を使う心意気

最近、面白い経験をしました。名古屋で新幹線を降りた時の出来事。前を歩いている2人が英語で談笑していました。明らかに1人は日本人。もう1人は東南アジア系。国籍はわかりません。日本人の彼が話す英語が聞こえてきます。

(A) In Tokyo, people stand left, walk right. In Osaka, stand right, walk left. Nagoya. I don't know.

このような感じだったと思います。前方にはエスカレーターがありました。すぐに何について話しているのかわかる英語です。敢えて略されている語を補い、一部言い換えてみると、次のような流れになるでしょうか。

(B) On escalators in Tokyo, people stand on the left and people in a hurry walk on the right. In Osaka, it's the other way around. I'm not sure about Nagoya.

東京のエスカレーターでは、立つ人は左側、急いでいる人は右側を歩く。大阪では、その逆。名古屋はどっちだろう。

(B)の内容、(A)でも十分伝わります。説明していた彼は、臆することなく、身振り手振りを交えながら堂々と話していました。その姿に「全部言わなくても大丈夫」という「カタコト英語を使う心意気」を見た気がしたのです。

3 勇気の源

トレーニングの裏付け

「語彙に発想、少しの勇気」。少しの勇気とは、「言っちゃえ、という思い切りのよさ」。言葉ではわかっている、いざという時にはなかなか。それが本音でしょう。その「思い切りの良さ」を引き出してくれるのが日々のトレーニング。まさに、*A little each day adds up to a lot.*「塵も積もれば山となる・日々の努力が実を結ぶ・日々の積み重ねが物を言う」。

発音が苦手なら、何度も繰り返して言えばいい。少しでも話せるようになりたいと思うなら、声に出して言うトレーニングを続けたい。実践的な英語力を身につけたいと思うなら、さまざまな場面で使われる英語の語彙(単語・表現・英文)を増やすための努力をすればいいのです。

トレーニングの裏付けがあれば、英語を話す勇気が湧いてきます。読者の皆さん。忘れないでください。

A little each day adds up to a lot.

発音:6つのポイント

英語を話す時、どうしても気になるのが発音。英語らしく話したい、と誰もが思うものです。苦手だからと言って、声を出さなければいつまで経っても日本語発音のまま。本書 Part 2「実践編」でカタコト英語トレーニングを始める前に、ここで発音のポイントを押さえておきましょう。

◇Point 1:[オ・ウ]を取る

本書冒頭の「はじめに」に出てきた英文を覚えていますか。

Key inside. Me outside. Help me.

声に出して言ってみてください。[キーインサイド・ミーアウトサイド・ヘルプミー]。このままでは英語というより、日本語に聞こえてしまいます。では、どうすれば英語発音に近づけるでしょうか。

ここでアドバイス。次のカタカナ発音表記を見てください。

キーインサイd・ミーアウトサイd・ヘルpミー

dとtは[オ]、pは[ウ]をつけない、という意味です。[ド・ト・ド・プ]ではなく、[d-t-d-p]（発音記号）と発音します。また、[サイ]を[サーイ]と少し伸ばすようにしてみてください。それでは、[オ・ウ]を発音せずに、もう1度言ってみましょう。どうぞ。

Key inside. Me outside. Help me.

いかがでしたか。[オ・ウ]を取るだけでも、英語らしい発音に近づいた気がしませんか。いや、気がする、ではなく、実際に英語らしく聞こえるようになるのです。

身近な表現を使って、練習しておきましょう。まず、挨拶から。

1. Good morning.

グツ d モーニ η

2. Good afternoon.

グツ d アフタヌーン

3. Good evening.

グツ d イーヴニ η

4. Good night.

グツ d ナイト

morningとeveningのngは[ング]ではなく、鼻から息を抜くngです。これを発音記号で表すと[η]になります。

会話文を使って[オ・ウ]を取る練習を続けましょう。

5. You're right.

ユアライツ t

君の言う通り。

6. What happened?

ワツ t ハアプン d

何があったの？

7. Time's up.

タイムズアツ p

時間です。

8. Good job.

グツ d ジョ b

お疲れさま。

9. Good luck.

グツ d ラツ k

頑張って。

10. Just kidding.

ジャストキディ η

冗談だよ。

9.に[k]が出てきましたので、意識する音は[t - d - p - b - k - η]の6つです。